

施設名	浜松市三ヶ日支所			所在地	浜松市浜名区三ヶ日町三ヶ日500-1
所管部署	浜松市三ヶ日支所	HP		電話番号	053-524-1111
				SNS	https://www.instagram.com/machikyo_mikkabi/



○施設外観・事業風景




○施設概要

施設の沿革・年表				施設の運営で大切にしている考えなど(PRポイント等を含む)			
昭和59年4月 三ヶ日公民館設立 平成25年4月 三ヶ日協働センターに名称変更 令和2年4月～ 施設管理運営を三ヶ日まちづくり協議会に委託 令和6年1月 行政区再編により三ヶ日支所に名称変更				世代間交流のできる公民館がモットーです。 公民館は、「人づくり・地域づくり」の大切な拠点だと考えています。 公民館がつなぎ役となり、地域の絆が深まっていく後押しをするよう心掛けています。 子どもからシニアまでが、一緒に学び、楽しむことのできる、家庭のような温かな居場所(サードプレイス)づくりに取り組んでいます。			
市町人口		781011人		施設対象人口		13008人	
建物設置年月日		昭和59年4月1日		開館日数 (前年度実績)		359日	
運営主体		<input type="checkbox"/> 市町教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 市町首長部局		<input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input checked="" type="checkbox"/> その他(委託先) (三ヶ日まちづくり協議会)			
職員数		<input checked="" type="checkbox"/> 専任 9人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人		<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 7人 <input checked="" type="checkbox"/> 委託先職員 10人		合計 26人	
講座等開催数 (前年度実績)		<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 78回 <input type="checkbox"/> 講演会・展示会等 0回		<input checked="" type="checkbox"/> その他 3回		合計 81回	
来館者数 (前年度実績)		<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 547人 <input type="checkbox"/> 講演会・展示会等 0人		<input checked="" type="checkbox"/> 貸館・サークル活動 14303人 <input type="checkbox"/> その他 0人		合計 14850人	

○事業等の実施状況(『特色ある活動』であげた事業以外で2つ)

区 分		事 業 名		開催回数	延参加者数	区 分		事 業 名		開催回数	延参加者数
<input checked="" type="checkbox"/> 主催	<input type="checkbox"/> 共催	三ヶ日ふれあいフェスタ		1回	800人	<input checked="" type="checkbox"/> 主催	<input type="checkbox"/> 共催	レディースセミナー		12回	93人
事業概要(共催先も記載)						事業概要(共催先も記載)					
ワークショップ・作品展示、出店などを開きました。 児童館や福祉センター、図書館等、他の施設とも協力し、地域全体で行うイベントになっています。						体操やクラフト、料理など、毎回異なる内容で展開しています。 通年講座のため、受講生の絆も深まり、ふれあいフェスタでの作品展示やボランティアへの参加にもつながっています。					





施設名

浜松市三ヶ日支所

○特色ある事業

1. 事業名

スタディ・ルーム

2. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

夏休み期間、「子ども達が安心して過ごせる居場所が欲しい」という声が多く寄せられていました。学童がない学区があることや、高齢の祖父母では見守りが難しいという課題が背景にあります。子育て世代の声を取り入れながら、地域の絆づくりができないかと考えた企画が、地域の大人がゆるやかに見守るスタディ・ルームでした。

3. 取組内容(力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など)

楽しく学び、楽しく交流のできる場所にする事を心掛けています。スライムづくりなど、楽しみながら学べるワークショップに力を入れています。ワークショップは大好評で、いつも定員が埋まっています。また、子ども達が気を使わないよう、ボランティアは積極的な声掛けを行っていません。話したいときに話す、遊びたい時に遊ぶ、ゆるやかな見守りも特徴の一つです。

4. 参加対象、参加者数(前年度実績)

参加対象	小中学生とその保護者	参加者数	104人
------	------------	------	------

5. 取組による成果や効果

三ヶ日地域全体から参加者が集まることで、学区や学年を超えた繋がりが生まれています。中学校入学時に他校の友人がいることで、中1の壁が低くなったという参加者も少なくありません。また、移住者がボランティアを契機に地域活動に参加するなど、地域への架け橋にもなっています。

6. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

実施後に、ボランティアの方々と意見交換を行い、運営面の工夫や改善点を共有しています。参加した子ども達や保護者からの感想や声も参考にしながら、講座内容の見直しを図っています。



7. 今後の目標・展開、次の仕掛け・ビジョン

三ヶ日地域には高校や大学がありません。三ヶ日地域で過ごす時間が長い未就学児から中学生までの期間を「地域との絆を育む種まき期間」と捉えています。この種まき期間に、他世代との交流を通して三ヶ日地域の良さを感じてもらうことで、参加者に「居場所の一つ」として認識してもらうことが目標です。今後は、年齢に関係なく楽しむこのとでできるワークショップを充実させることで、世代間交流ができる講座としての機能を強化していきたいと考えています。